

指定管理者制度導入施設の第三者評価結果

開催日	平成28年8月16日		
公の施設の名称	海浜公園有料公園施設（海浜公園水泳プール）		
指定管理者の名称	OGS・エスキューブ・グローブシップ芦屋海浜公園水泳プール共同事業体		
所管課名	社会教育部 スポーツ推進課		
指定期間	平成26年6月1日～平成31年3月31日		
所在地	芦屋市浜風町30番1号		
施設概要	海浜公園有料公園施設（海浜公園水泳プール） 火～土曜日10：00～21：00 日祝9：00～18：00		
業務概要	海浜公園有料公園施設（海浜公園水泳プール）の維持管理業務		
収支の状況	事業計画上の金額	実績	
平成26年度収入	94,233,000円	75,032,219円	
平成26年度支出	90,916,000円	100,339,160円	
平成26年度収支	3,317,000円	-25,306,941円	
平成27年度収入	118,413,000円	120,928,678円	
平成27年度支出	115,128,000円	111,971,201円	
平成27年度収支	3,285,000円	8,957,477円	
選定・評価委員	委員構成	氏名	所属・役職
	1号委員 (学識経験者)	富田 智和	神戸そよかぜ法律事務所（弁護士）
	2号委員 (諮問に係る公の施設に関し専門的知識を有する者)	岡田 明	甲南女子大学（教授） 甲南女子中学校・高等学校（校長）
	1号委員 (学識経験者)	小市 裕之	新日本有限責任監査法人（公認会計士）
	3号委員 (市職員)	川原 智夏	芦屋市教育委員会 社会教育部長
評価対象期間	平成26年6月1日～平成28年3月31日の1年10か月間		

評価項目	説明	点数	得点率	評価
①適正性		各40	160	73% B
施設保守・運営管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか	22	116	
従業員管理・研修計画	適正に従業員が配置され、労働環境が保持されているか 従業員研修が十分に実施されているか	32		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか	30		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか	32		
②効率性		各40	120	68% B
事業収支	事業収支は適切に算出され、計画に沿っているか	22	82	
財政基盤	財政基盤は安定的にサービスを提供できる状態にあるか	36		
内部統制	業務運営に関する内部統制は有効に機能している	24		
③有効性		各40	120	65% B
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか 提案されていた自主事業等に計画通り、取り組んでいるか	30	78	
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか	30		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか	18		
		得点率	69%	B

利用状況等	項目名	平成27年度	平成26年度
		実績	実績
	屋外プール利用者数	21,167人	20,180人
	屋内プール利用者数	55,047人	35,167人
	プール自主事業参加人数	61,653人	36,300人
	多目的室自主事業参加人数	16,589人	11,588人

総合評価	評価の理由
B	従業員研修の実施や個人情報管理が概ね適正に管理されています。今後は、より身近な施設となるように地域や住民とのパートナーシップの推進を検討してください。

総合評価結果	得点割合	
S	優良 90%以上	目標・計画を大きく上回る。優れた管理運営が行われたもの
A	良好 75%以上	目標・計画を上回る。良好な管理運営が行われたもの
B	適正 60%以上	計画に沿ったものである。適正な管理運営が行われたもの
C	要努力 60%未満	目標・計画を下回る。一部に課題がある管理運営が行われたもの

講評及び次期指定に向けての課題等

指定管理者に対する意見	施設所管課に対する意見
<p>【書類の提出】 事業計画・報告書等の提出書類に不備があり、期限内に提出されていません。期限内に記載漏れのない事業計画・報告書等を市に提出することが必要です。</p> <p>【適正な人員配置や研修】 定期的な研修や、アルバイトに対して日々のAED、心肺蘇生法の訓練などを実施しており、また、適正な人員が配置されています。 アルバイトの賃金については、他のプール施設と比較して差異が無いかなどを確認してください。</p> <p>【危機管理】 事故が報告されましたが、その後の対応として直ぐに年次事業計画の研修などに反映し、対応されています。また、月に一度の緊急事態対応訓練を実施し、本社も実施状況を把握しています。</p> <p>【個人情報管理】 個人情報の取扱いについて、厳格に管理を行っています。</p> <p>【事業収支】 人件費の計上漏れがあったことから、共同事業体として具体的な改善策を講じること。また、収支状況のチェック体制が不十分です。 指定管理施設の職員が、外部指導を行った際の人件費をどのように取り扱うか調整してください。</p> <p>【財政基盤】 流動資産の増加など改善が見られ、共同事業体の財政基盤は安定しています。</p> <p>【備品の管理】 持込備品リストに記載されていない持込備品があります。持込備品リストに漏れが無いように記載し、管理する必要があります。</p> <p>【サービス向上・利用者へのアンケート調査】 サービス向上の取組が行われています。 アンケートの回収率については前年度は低調でしたので、今年度は利用客の多い夏の時期にアンケート調査を実施し、回数を増やしていくなどの計画をされているため、今後の改善に期待します。</p> <p>【地域や住民等との連携】 今後、スポーツ推進課と双方で協議して、取り組む必要があります。</p>	<p>【事業収支】 事業収支において、人件費の計上漏れなどチェック機能が不十分です。今後は、収支状況の実態を把握し、収支漏れなどが無いようにしてください。</p> <p>【利用者へのアンケート調査】 利用客の多い夏の時期にアンケート調査を実施するなど、回収率の向上にむけた指定管理者の取組を把握するようにしてください。</p> <p>【地域住民等の連携】 今後、指定管理者と双方で協議して、取り組む必要があります。</p>